



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月4日

上場会社名 文化シャッター株式会社

上場取引所 東

コード番号 5930 URL <http://www.bunka-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 潮崎 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日 2020年11月4日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	78,259	6.3	2,933	0.1	3,330	24.5	1,874	19.4
2020年3月期第2四半期	83,528	14.6	2,935	71.4	2,674	54.0	1,570	68.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,503百万円 (19.3%) 2020年3月期第2四半期 1,259百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	26.15	23.03
2020年3月期第2四半期	21.91	19.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	159,710	77,762	48.6
2020年3月期	165,874	77,157	46.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 77,596百万円 2020年3月期 76,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.50		12.50	25.00
2021年3月期		12.50			
2021年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年11月4日)公表いたしました「業績予想並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	171,000	7.2	7,400	22.0	8,500	15.0	5,500	16.7
								76.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年11月4日)公表いたしました「業績予想並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	72,196,487 株	2020年3月期	72,196,487 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	503,448 株	2020年3月期	503,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	71,693,134 株	2020年3月期2Q	71,693,348 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料につきましては、2020年11月25日(水)にTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、2020年11月26日(木)に当社ウェブサイトにて四半期決算説明動画を配信する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出を受け、外出自粛及び休業要請等の影響により企業活動や個人消費が停滞し、その後、緊急事態宣言が解除されたものの感染の収束は見通せず、景気回復の足取りは鈍く、極めて深刻な状況にあります。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、民間設備投資が減少傾向にあることに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、感染拡大防止に伴う受注活動の制限等の影響により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、78,259百万円（前年同四半期比6.3%減）となりましたが、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は2,933百万円（前年同四半期比0.1%減）、経常利益は3,330百万円（前年同四半期比24.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても1,874百万円（前年同四半期比19.4%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### 1. シャッター関連製品事業

大型物流倉庫及び大型商業施設向け重量シャッター等が低調に推移しました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は29,383百万円（前年同四半期比6.0%減）となりましたが、営業利益は2,835百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

#### 2. 建材関連製品事業

オフィスビル及び大型商業施設向けのスチールドア等が堅調に推移した一方で、戸建て住宅・集合住宅向け建材関連製品等が低調に推移しました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は32,812百万円（前年同四半期比5.1%減）となりましたが、営業利益は338百万円（前年同四半期は営業利益22百万円）となりました。

#### 3. サービス事業

緊急修理対応及び定期保守メンテナンス契約等が低調に推移しました結果、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,831百万円（前年同四半期比3.2%減）となり、営業利益は1,405百万円（前年同四半期比18.5%減）となりました。

#### 4. リフォーム事業

ストック市場への取り組みとして、ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅用リフォーム事業が低調に推移しました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,224百万円（前年同四半期比42.3%減）となり、営業損失は193百万円（前年同四半期は営業利益86百万円）となりました。

#### 5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨や集中豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業が堅調に推移しました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,007百万円（前年同四半期比12.8%増）となり、営業利益は423百万円（前年同四半期比41.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は159,710百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,163百万円減少しました。流動資産は90,233百万円となり、5,911百万円減少しました。これは、現金及び預金が増加(6,153百万円)、商品及び製品が増加(1,556百万円)した一方で、受取手形及び売掛金が減少(14,226百万円)したことが主な要因であります。固定資産は69,477百万円となり、251百万円減少しました。これは、有形固定資産のその他が増加(333百万円)、投資有価証券が増加(119百万円)した一方で、のれんが減少(364百万円)、無形固定資産のその他が減少(350百万円)したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は81,947百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,769百万円減少しました。流動負債は47,845百万円となり、6,965百万円減少しました。これは、流動負債のその他が増加(465百万円)した一方で、支払手形及び買掛金が減少(6,747百万円)、短期借入金が減少(301百万円)、未払法人税等が減少(298百万円)したことが主な要因であります。固定負債は34,102百万円となり、196百万円増加しました。これは、長期借入金が増加(125百万円)した一方で、固定負債のその他が増加(223百万円)、退職給付に係る負債が増加(103百万円)したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は77,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ605百万円増加しました。これは、配当金の支払い(896百万円)、為替換算調整勘定の減少(652百万円)により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(1,874百万円)により増加したこと、その他有価証券評価差額金が増加(315百万円)したことが主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、30,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,505百万円(26.7%)増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は9,552百万円(前年同四半期比88.1%増)となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少額14,175百万円、税金等調整前四半期純利益3,398百万円、減価償却費1,859百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額6,382百万円、たな卸資産の増加額1,952百万円、法人税等の支払額1,809百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,253百万円(前年同四半期比37.2%減)となりました。収入の主な内訳は、定期預金の減少額351百万円、貸付金の回収による収入54百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,179百万円、無形固定資産の取得による支出439百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,762百万円(前年同四半期比33.5%減)となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額200百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額896百万円、長期借入金の返済による支出626百万円、リース債務の返済による支出438百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を公表することといたしました。

詳細につきましては、本日(2020年11月4日)公表いたしました「業績予想並びに剰余金の配当(中間配当)及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,727	31,880
受取手形及び売掛金	46,640	32,414
商品及び製品	14,350	15,906
仕掛品	1,000	1,102
原材料及び貯蔵品	4,335	4,598
その他	4,202	4,436
貸倒引当金	△111	△105
流動資産合計	96,144	90,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,069	10,960
土地	12,475	12,475
その他(純額)	9,399	9,732
有形固定資産合計	32,944	33,169
無形固定資産		
のれん	4,543	4,178
その他	5,410	5,059
無形固定資産合計	9,953	9,238
投資その他の資産		
投資有価証券	16,998	17,117
退職給付に係る資産	1,658	1,644
その他	8,516	8,627
貸倒引当金	△342	△320
投資その他の資産合計	26,830	27,069
固定資産合計	69,729	69,477
資産合計	165,874	159,710

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,703	26,956
短期借入金	2,284	1,982
未払法人税等	1,632	1,333
賞与引当金	3,416	3,386
役員賞与引当金	127	88
工事損失引当金	118	104
その他	13,528	13,993
流動負債合計	54,811	47,845
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	266	141
役員退職慰労引当金	357	351
退職給付に係る負債	19,023	19,126
資産除去債務	53	54
その他	4,205	4,428
固定負債合計	33,905	34,102
負債合計	88,717	81,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	12,304	12,304
利益剰余金	47,564	48,543
自己株式	△156	△157
株主資本合計	74,763	75,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,620	2,936
土地再評価差額金	△76	△76
為替換算調整勘定	△317	△969
退職給付に係る調整累計額	6	△36
その他の包括利益累計額合計	2,233	1,854
非支配株主持分	160	166
純資産合計	77,157	77,762
負債純資産合計	165,874	159,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	83,528	78,259
売上原価	61,686	57,545
売上総利益	21,842	20,713
販売費及び一般管理費	18,906	17,779
営業利益	2,935	2,933
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	185	189
受取賃貸料	40	38
為替差益	—	302
その他	76	122
営業外収益合計	315	662
営業外費用		
支払利息	83	38
持分法による投資損失	164	199
為替差損	277	—
その他	50	27
営業外費用合計	577	265
経常利益	2,674	3,330
特別利益		
固定資産売却益	2	1
抱合せ株式消滅差益	126	—
課徴金返還額	—	63
受取保険金	—	18
特別利益合計	129	84
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	17	16
特別損失合計	23	16
税金等調整前四半期純利益	2,780	3,398
法人税等	1,203	1,516
四半期純利益	1,577	1,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,570	1,874



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,577	1,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	276
為替換算調整勘定	△28	△619
退職給付に係る調整額	△111	△61
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	25
その他の包括利益合計	△317	△378
四半期包括利益	1,259	1,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,253	1,496
非支配株主に係る四半期包括利益	6	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,780	3,398
減価償却費	1,706	1,859
のれん償却額	457	216
貸倒引当金の増減額(△は減少)	37	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	32	△30
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△38
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23	13
受取利息及び受取配当金	△198	△199
支払利息	83	38
固定資産処分損益(△は益)	20	15
持分法による投資損益(△は益)	164	199
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△126	—
課徴金返還額	—	△63
売上債権の増減額(△は増加)	8,679	14,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,520	△1,952
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,359	△6,382
その他	3	△130
小計	7,702	11,091
利息及び配当金の受取額	242	243
利息の支払額	△83	△38
課徴金の返還による収入	—	63
法人税等の支払額	△2,784	△1,809
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,077	9,552
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	13	351
有形固定資産の取得による支出	△897	△1,179
有形固定資産の売却による収入	11	5
無形固定資産の取得による支出	△665	△439
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△458	—
投資有価証券の取得による支出	△10	△13
貸付けによる支出	△56	△37
貸付金の回収による収入	65	54
その他	—	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△1,253
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△0	200
長期借入金の返済による支出	△1,143	△626
自己株式の取得による支出	△0	△0
子会社の自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△1,075	△896
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△420	△438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,651	△1,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	413	6,505
現金及び現金同等物の期首残高	22,620	24,393
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	61	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,095	30,898

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	31,245	34,571	11,193	3,853	80,863	2,665	83,528	—	83,528
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	2,188	19	360	17	2,585	94	2,680	△2,680	—
計	33,433	34,590	11,554	3,871	83,449	2,760	86,209	△2,680	83,528
セグメント 利益	2,733	22	1,723	86	4,566	299	4,865	△1,929	2,935

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,929百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,926百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、新たにARCO(QLD)PTY LTDの株式を取得し、同社及びその子会社であるRETROTECH DOOR SERVICES PTY LTDを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては309百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	29,383	32,812	10,831	2,224	75,251	3,007	78,259	—	78,259
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	1,973	9	241	63	2,288	156	2,444	△2,444	—
計	31,357	32,822	11,072	2,287	77,539	3,163	80,703	△2,444	78,259
セグメント 利益又は損失 (△)	2,835	338	1,405	△193	4,386	423	4,810	△1,876	2,933

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,876百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,873百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。